

令和7年度に重点的に取り組む施策

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

県民の命と財産を守るための防災力の強化	4
発達障害児(者)の支援	4
高齢者にやさしい奈良県づくり	5
県立病院機構の経営改革への支援	5
西和医療センターの移転整備	6

II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進	6
不妊治療に対する支援	10
高校授業料の無償化	10
県立学校の環境改善	11

III 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

脱炭素社会の実現	11
産業政策のパッケージ2025	13
奈良スタートアップ・プログラム	15
大和平野中央の県有地の活用	15
戦略的な観光振興施策	16
奈良の食と農の魅力づくり	19
「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進	20
国スポ・全スポ奈良大会準備の推進	21
南部東部地域の振興	21

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等	22
道路整備の加速化	23
大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興	24
県庁の働き方・職場環境の改革	24

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

県民の命と財産を守るための防災力の強化

R 7 予算案 2,952百万円
R 8～11債務負担行為 251百万円
 (R 6 予算 57百万円)

①新 近畿府県合同防災訓練を実施

R 7 予算案 60百万円 (R 6 予算 -)
 ・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練及び奈良県防災総合訓練を一体的に実施し、大規模災害発生時における広域的な防災体制の強化や、防災関係機関の連携強化、県民の防災意識の高揚を図る



①倒壊ビル救出訓練の様子

②大規模災害発生時の応急対策を強化

R 7 予算案 131百万円
 (R 6 予算 55百万円)
 R 8 債務負担行為 30百万円
 ・新 南海トラフ地震等の大規模災害時に、応援部隊や支援物資等を迅速かつ円滑に受け入れるため、南部中核拠点の整備を推進 R 7、先行整備を予定
 ・広域防災拠点の運用について、具体的な検討や訓練を実施



②南部中核拠点先行整備 (イメージ)

③自主防災組織の育成支援

R 7 予算案 3百万円 (R 6 予算 3百万円)
 ・自主防災・防災リーダー研修等により、自助・共助の体制整備を推進

④新 消防防災ヘリコプターを再整備

R 7 予算案 2,691百万円 (R 6 予算 -)
 ・奈良県消防防災ヘリコプターの老朽化に伴い新機体を購入



④新しい奈良県消防防災ヘリコプター (イメージ)

⑤新 消防学校移転整備を推進

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)
 ・消防学校教育の充実に向け、消防学校の機能強化にかかる検討・調査を実施

⑥新 奈良県救急医療管制システムを更新

R 7 予算案 58百万円 (R 6 予算 -)
 R 8～11債務負担行為 221百万円
 ・搬送時間の短縮を図るため、救急車積載器機との連携による患者情報入力省力化等の新機能を含む救急医療管制システムを再整備

P.26 安全・安心の確保

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

発達障害児(者)の支援

R 7 予算案 93百万円 (R 6 予算 88百万円)

①当事者とその家族に寄り添い、伴走する体制の充実

R 7 予算案 60百万円
 (R 6 予算 60百万円)

- ・県発達障害者支援センターにR 6に増員した相談員(7名)・地域支援マネージャー(2名)を継続して配置
- ・乳幼児健診等における発達特性発見スキル向上のための市町村向け研修を実施



②早期に適切な発達支援につなげる仕組みの構築

R 7 予算案 15百万円
 (R 6 予算 16百万円)

- ・県総合リハビリテーションセンターにR 6に増員した小児科医師(常勤3名、非常勤2名)を継続して配置
- ・発達障害医療を担える小児科医の育成のために専攻医(2名)を県総合リハビリテーションセンターに継続して受入れ
- ・臨床心理士を市町村に派遣し、診断前のアセスメントを行うとともに保健師等への助言や家族支援を実施

③当事者を中心に、地域でチームとして支援する体制の整備促進

R 7 予算案 18百万円
 (R 6 予算 13百万円)

- ・児童発達支援センターの設置や保育所への巡回支援等に取り組む市町村に対し補助
- ・地域の障害児支援の質を高めるため、障害児支援事業所等へのスーパーバイズ等を強化
- ・診断に携わる医師間の連携強化、地域で支援を行う福祉事業所・学校等のネットワークの構築



(支援イメージ)

P.27 福祉の充実

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

高齢者にやさしい奈良県づくり

R 7 予算案 1,315百万円 (R 6 予算 1,342百万円)
R 6. 2月補正予算案 252百万円

高齢者が健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、要介護状態の予防や介護保険制度の持続可能性向上に取り組み、「高齢者にやさしい奈良県づくり」を目指す。

①介護予防の充実

R 7 予算案 1,112百万円 (R 6 予算 1,073百万円)

高齢者が健康で生きがいをもって暮らし続けられるよう、市町村が行う介護予防の取組を支援

○地域活動事例の展開

- ・**新**先進的な取組事例の普及や個別支援を実施

○地域支援事業交付金による財政支援



住民主体で行う「いきいき百歳体操」(大淀町)

②介護給付の適正化

R 7 予算案 7百万円 (R 6 予算 2百万円)

高齢化の進展に伴う介護給付費の増加に対処するため、市町村が行う介護給付の適正化を支援

○ケアプラン点検の強化

- ・ケアプラン点検に関する研修の実施、ケアマネジャーの派遣
- ・**新**有料老人ホーム等における不適切なケアプランの点検を支援

③介護人材の確保・定着

R 7 予算案 196百万円・R 6. 2月補正予算案 252百万円
(R 6 予算 268百万円)

介護人材の確保と定着を図るため、介護ロボット等の導入による職場環境の改善と外国人材の活用を強化

○介護ロボット等を導入する介護事業所に対する支援

- ・介護ロボットの導入促進の支援をさらに強化
- ・**新**介護ロボット等の導入や活用に関する相談センターを設置

(介護ロボット等の一例)



装着型の介護ロボットを活用し、介護職員の身体的負担を軽減

○外国人材の活用に取り組む介護事業所に対する支援

- ・**新**海外における学校との連携や広報に要する経費を補助

○介護福祉士修学資金貸付等による介護人材確保の取組の推進

P.27 福祉の充実

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

県立病院機構の経営改革への支援

R 7 当初予算案 3,382百万円
R 6・2月補正予算案 4,000百万円
(R 6 予算 3,260百万円)

①経営改善に必要な経費に対して貸付け

R 6 2月補正予算案 **新** 4,000百万円

- ・多額の赤字を抱える県立病院機構の経営安定化を支援するため、運営資金について、長期的に低利で貸し付け、金利負担を軽減

②政策医療の実施等のため運営費交付金により支援

R 7 予算案 3,382百万円 (R 6 予算 3,260百万円)

- ・県立病院機構が行う、救急医療や周産期医療等の政策医療の実施に係る経費を支援
- ・県立病院機構が行った、病院施設や医療機器の整備に係る財政負担を軽減



奈良県総合医療センター 救急医療



奈良県総合医療センター 周産期医療

P.28 医療の充実

I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

西和医療センターの移転整備

R7 予算案 259百万円
(R6 予算 131百万円)

①新しい西和医療センターの移転整備に向け、設計に着手

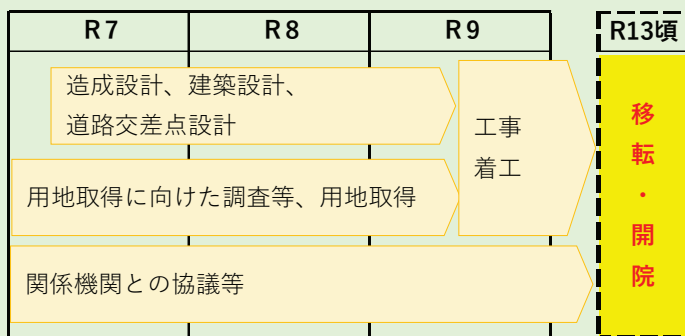
R7 予算案 106百万円 (R6 予算 18百万円)

- ・(新) 造成設計、建築設計
- ・道路交差点設計

②用地取得に向けた関連手続きを実施

R7 予算案 154百万円 (R6 予算 113百万円)

- ・用地取得に向けた補償調査、不動産鑑定調査等
- ・関係機関との協議等を実施



JR法隆寺駅南側地区付近図

〈建物概要〉

- 病床数：300床 (現病院：300床)
- 建築延床面積：27,000㎡程度 (現病院：約20,000㎡)
- 病院建物
 - ・地上4階建て程度
 - ・屋上ヘリポート、免震構造
(災害拠点病院の指定を目指す)

P.28 医療の充実

II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進①

R7 予算案 10,681百万円 R6・2月補正予算案 49百万円
R8～9 債務負担行為3,615百万円 (R6 予算 8,587百万円)

- 令和6年度において、本県のこども政策を総合的に推進するための「奈良県こどもまんなか未来戦略」を策定
- 未来戦略の9つの取組方針に基づき、令和7年度実施事業について検討し、以下の主な取組を実施

取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

- こども・若者への意見聴取と反映を実施
R7 予算案 5百万円 (R6 予算 3百万円)
- ・こども・若者が、自らが当事者となる施策に参画できる機会を確保し、「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、意見発表の場を提供

取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

- 若者のライフデザイン実現に向けた支援
R7 予算案 6百万円 (R6 予算 7百万円)
- ・将来の選択肢が制限されることのないよう、早い段階から正しい情報に触れ、結婚や子育てなどライフイベントについて考える機会(ライフデザイン)を提供

《その他、別ページに掲載の取組》

- 困難な問題を抱える女性への支援
R7 予算案 10百万円 (R6 予算 1百万円)
(「困難な問題を抱える女性への支援」参照)

取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上

- 若者に県内企業を知ってもらう機会の創出
R7 予算案 6百万円 (R6 予算 6百万円)
- ・高校生が県内企業を訪問することで、適性や仕事について考える機会を提供
- オンラインを活用したリカレント教育による就職支援
R6・2月補正予算案 30百万円 (R6 予算 -)
- ・求職者と企業をマッチングし、オンライン研修と企業内実践訓練を通じて、企業が求める知識・能力を有する人材を育成
- 企業単独では困難な在職者のキャリアアップの支援
R6・2月補正予算案 15百万円 (R6 予算 -)
- ・ITスキルやマネジメントスキルなど、多彩なカリキュラムのeラーニング環境を提供

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進②

取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- 働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進
R7予算案 73百万円 (R6予算 102百万円)
・企業における業務改善を支援するとともに、就労を希望する女性に対して、リスキリングと、企業とのマッチングを支援
- ワクワクする職場環境づくりの推進
R7予算案 3百万円 (R6予算 3百万円)
・働きやすい職場づくりに取り組んでいる事例の紹介や、企業・団体等のトップに向けた実効性のあるセミナーや意見交換の機会を提供

取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実

- こども・子育てDXの推進
R7予算案 6百万円 (R6予算 6百万円)
・こども・子育て分野のDXを推進するため、市町村との電子母子手帳アプリ等のシステムの共同化等を検討

取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

- こども食堂(こどもの居場所)への支援
R7予算案 31百万円 (R6予算 18百万円)
・(新)企業版ふるさと納税を活用し、新たにこども食堂を開始する際の開設経費に対し補助
・こども食堂コーディネーターを配置し、開設・運営にかかる相談、民間協力企業とこども食堂のマッチング等の支援を実施
・「奈良県安心・安全こども食堂認証制度」をこども食堂に普及させるため、認証の取得・維持に必要な経費に対し補助
・調理や遊びを通じたこどものはぐくみ活動を促進するため、こども食堂の食事を一定期間無料化するこども食堂に対し補助
- (新)公設フリースクールの整備
R7予算案 17百万円 (R6予算 -)
・メタバースを活用したオンライン環境を構築し、多様な学びの場、居場所の確保による不登校支援
《その他、別ページに掲載の取組》
○(新)妊産婦等への支援の強化
R7予算案 22百万円 (R6予算 -)
(「困難な問題を抱える女性への支援」参照)
○ヤングケアラーへの支援の強化
R7予算案 267百万円 (R6予算 226百万円)
(「ヤングケアラーへの支援の強化」参照)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進③

取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

- 保育士の処遇改善
R7予算案 349百万円 (R6予算 326百万円)
・県内保育士の処遇改善を実施し、民間保育所等における保育士給与等の透明化を図ることにより、保育人材の確保・定着を促進
常勤保育士等の処遇改善(給与加算)に取り組む市町村に対し1/2を補助
(県の補助上限額: 1人あたり1万円/月)

```
graph TD
    M[市町村] -- 補助 --> MF[民間保育施設]
    M -- 給与加算 --> CW[保育士]
    P[県] -- 支援(補助) --> M
    MF -- 結果報告 --> P
    CW -- 結果報告 --> P
    P -- 処遇改善実施結果を公表 --> T[保育士給与等の透明化]
    T --> S[保育人材の確保・定着を促進]
```
- (新)教育行政に係る法務相談体制の整備
R7予算案 5百万円 (R6予算 -)
・学校等への過剰な要求や学校事故などの諸課題に対応するため法務専門家の派遣体制を整備
法務専門家(弁護士)を選任し、県立学校、県及び市町村教育委員会への法務相談、研修及び出前授業等を実施
《その他、別ページに掲載の取組》
○(新)ベビーシッターを利用した子育て支援
R7予算案 18百万円 (R6予算 -)
(「子育て世帯への支援の拡充」参照)
○発達障害児への支援
R7予算案 93百万円 (R6予算 88百万円)
(「発達障害児(者)の支援」参照)
○高等学校授業料等の支援制度を拡充
R7予算案 1,283百万円 (R6予算 1,259百万円)
(「高校授業料の無償化」参照)
○県立学校の環境改善
R7予算案 2,740百万円 (R6予算 1,303百万円)
R8債務負担行為 3,118百万円
(「県立学校の環境改善」参照)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進④

取組方針⑧ 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

《その他、別ページに掲載の取組》

○不妊治療の支援

R 7 予算案 94百万円 (R 6 予算 7百万円)
(「不妊治療に対する支援」参照)

○ぬくもりあふれる公園プロジェクト

R 7 予算案 262百万円 (R 6 予算 178百万円)

R 8 債務負担行為 130百万円

・全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の設計・整備を実施



手すりの設置、段差の解消



トイレの整備



授乳施設の設置



おもいやり駐車場の設置



休憩施設の設置

取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

○まほろば健康パークの機能強化

R 7 予算案 95百万円 (R 6 予算 14百万円)

R 8～9 債務負担行為 35百万円

・すべての人が利用できる、インクルーシブな公園を目指し、まほろば健康パークの機能を強化するため、基本設計等を実施



(※) その他こども・子育て施策に係る予算

R 7 予算案 5,295百万円 R 6・2月補正予算案 4百万円

R 8 債務負担行為 333百万円 (R 6 予算 5,043百万円)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進 (困難な問題を抱える女性への支援)

R 7 予算案 32百万円
(R 6 予算 1百万円)

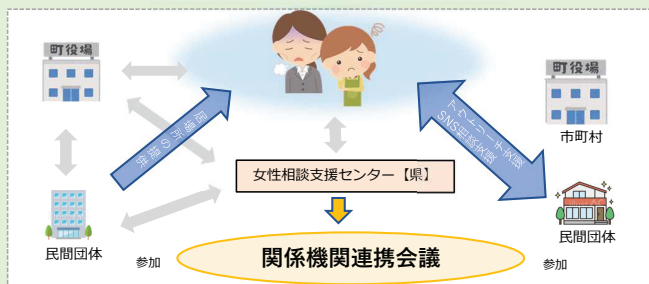
様々な事情により日常生活又は社会生活を営む上で困難な問題を抱える女性に対して支援を強化

① 民間団体等と連携し、地域での自立・定着まで、切れ目なく重層的な支援を実施

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 1百万円)

・困難な問題を抱える女性への支援を適切かつ円滑に行うため、包括的な体制構築に向けた民間団体等や市町村との連携会議を開催

・**新**アウトリーチ等による困難な問題を抱える女性の早期把握や一時的な居場所が必要と判断された女性に対する安心・安全な居場所の確保など、民間団体等が実施する困難な問題を抱える女性への支援に対し補助



② **新** 特定妊婦等に対し、面接や訪問相談等により状況を確認し、関係機関へ確実につなぐ体制を整備

R 7 予算案 12百万円 (R 6 予算 —)

・特定妊婦や性に関する疾病等に悩む若者に対し、面談・訪問相談等により状況を把握し、関係機関と連携を行うとともに、産科受診等医療機関への同行支援を行い、対象者の気持ちに寄り添った支援の実施

③ **新** 家庭生活に支障が生じている妊産婦や出産後の母子等に対して支援を実施

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 —)

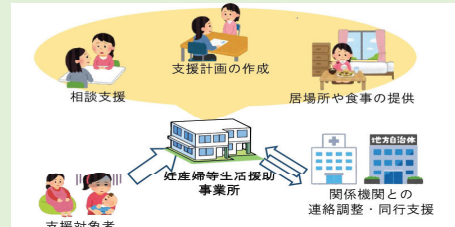
・利用者の状態に応じた支援計画の作成

・望まない妊娠に対する葛藤の相談やこどもの養育相談、自立に向けた相談等の相談支援

・入居又は通いによる居場所や食事の提供等の生活支援

・医療機関受診、就労支援機関の利用、行政手続等の同行支援

・児童相談所や市町村、医療機関等の関係機関との連携



P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進 (ヤングケアラーへの支援の強化)

R7予算案 267百万円
(R6予算 226百万円)

① ヤングケアラー支援体制を構築

R7予算案 11百万円 (R6予算 1百万円)

- ・(新)新たにヤングケアラー・コーディネーターを配置するなど、市町村や福祉・介護・教育民間支援団体等の関係機関等と連携して、発見・把握支援体制を構築
- ・ヤングケアラー等に関する実態調査の実施

主に18歳以上のヤングケアラーの早期発見にも対応

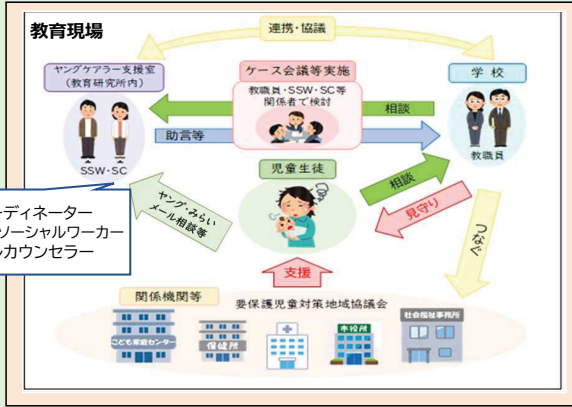
県・市町村
ヤングケアラー・コーディネーター
(県委託)

ヤングケアラー



地域・活動圏域で支援

学校 こども家庭センター 地域包括支援センター 医療機関 こども食堂 民間支援団体 等



・支援コーディネーター
・スクールソーシャルワーカー
※スクールカウンセラー

② 教育現場における支援体制の拡充

R7予算案 256百万円 (R6予算 225百万円)

令和5年度から教育委員会にヤングケアラー支援室を設置し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置

引き続き、以下の取組を実施

- ・児童生徒一人一人の実情に応じた福祉的・心理的支援等のコーディネート
- ・学校・市町村教育委員会等からの相談受付、メール相談窓口(ヤング・みらい)の運営等

令和7年度より、スクールカウンセラーを全公立小学校に配置拡充
(令和6年度 77校 → 令和7年度 178校)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

こども・子育て施策の推進 (子育て世帯への支援の拡充)

R7予算案 18百万円
(R6予算 -)

新ベビーシッターを利用した子育て支援の実施

- ・就労の有無に関わらず、子育て支援の一環として、県が試行的に実施するベビーシッターを利用した子育て支援事業を活用し、利用料助成を行う市町村を支援

【補助対象額】

市町村が利用者に対して助成する額の1/2

【県の補助上限額】

対象の子1人あたり1,500円/回かつ36,000円/年

【対象年齢】

0歳～3歳未満

【補助対象サービス】

認可外の居宅訪問型保育事業
(育児支援、外出支援、送迎支援、家事支援)

補助対象サービス

認可外の居宅訪問型保育事業



育児支援



外出支援

(保護者が病院や買い物に行く際の付き添い等)



送迎支援

(園や習い事への送り迎え等)



家事支援

(炊事・洗濯・掃除等)

P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

不妊治療に対する支援

R 7 予算案 94百万円
(R 6 予算 7百万円)

① 不妊治療費助成を行う市町村への補助

R 7 予算案 88百万円

- ・ 不妊に悩む夫婦等の経済的・精神的な負担を軽減し、妊娠を望む全ての人が、積極的に治療に取り組めるよう支援
- ・ 不妊治療費助成を行う市町村への補助を実施
補助率 県 1 / 4 ・ 市町村 1 / 4 ・ 自己負担 1 / 2

補助対象 (1) 保険適用治療
(2) 保険適用対象治療の回数制限を超えた治療 (2 回分)
(3) (1) 又は (2) と組み合わせて実施される先進医療
上 限 額 1 回の治療あたり (1) と (3) は 5 万円 (2) は 15 万円

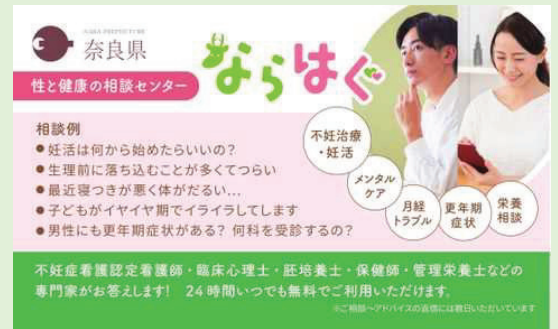
一般不妊治療【保険適用】

生殖補助医療	保険適用対象治療 1) 採卵、採精 (男性不妊) 2) 体外受精、顕微授精 3) 受精卵・胚培養 4) 胚凍結保存 5) 胚移植	【保険適用】 ※年齢・回数制限あり(1子ごと) ・ 40歳未満 通算6回まで ・ 40歳以上43歳未満 通算3回まで	補助対象
	【保険適用外】 回数制限の超過分		
	先進医療として認められた医療技術【保険適用外】 * 保険適用対象治療1)~5)に追加的に実施されるもの 先進医療として認められていない医療【保険適用外】		

② 性と健康の相談センター「ならはぐ」の運営

R 7 予算案 7百万円
(R 6 予算 7百万円)

- ・ 不妊・不育症、妊娠・出産、思春期の悩みなどに対し、若年層も相談しやすいオンライン相談窓口を設置し、専門職による相談を実施
- ・ 性と健康に関するセミナーの実施



P.29, 30 子ども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

II 奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

高校授業料の無償化

R 7 予算案 1,283百万円 (R 6 予算 1,259百万円)

高等学校授業料等の支援制度を拡充 (国の就学支援金に県が上乗せして支援)

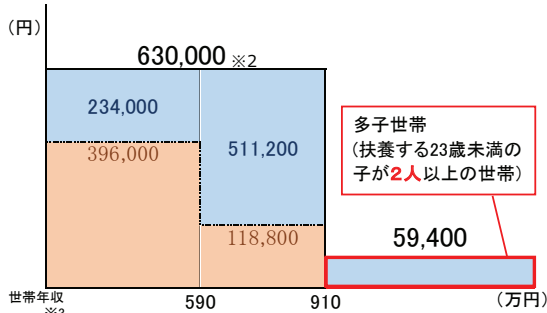
子どもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料等を支援

対象世帯：県内に保護者が在住し、子どもが県内の高等学校等に通う世帯

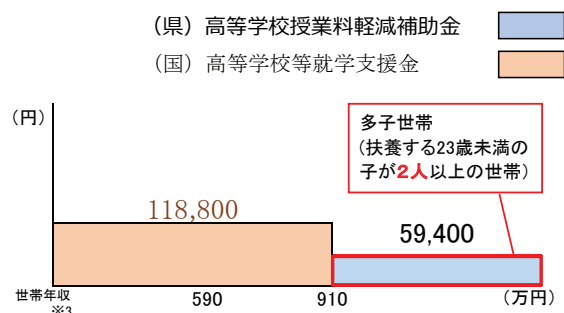
拡充内容：世帯年収(目安)910万円以上の世帯への支援対象を
扶養する23歳未満の子が
「3人以上の世帯」から「2人以上の世帯」に拡大

	23歳未満の子の扶養人数		
	1人	2人	3人以上
R 6	0円	0円	59,400円
R 7	0円	59,400円	59,400円

【私立高等学校等※1 (全日制・定時制) の支援イメージ】



【県立高等学校 (全日制) の支援イメージ】



※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制)) (通信制高校については、県内に設置された県認可校に限る)
 ※2 通信制は32万1000円
 ※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

P.31 教育の充実